©海事プレス社2026 禁無断転載

Daily Cargo

国際物流業界トピックス

アルゼンチンと航空自由化

■国土交通省、旅客・貨物便ともに

国土交通省は、アルゼンチンとの間で航空自由化の枠組みを構築した。旅客および貨物定期便を対象に、成田空港を含む二国間輸送の自由化（羽田空港は除く）、首都圏空港（成田空港、羽田空港）以外の空港を対象とした、以遠地点への輸送および中間地点からの輸送を自由化するもの。

第７回世界航空会議が開催されているモントリオールで16日、航空当局間の枠組みとして締結した。日本側の署名者は田島聖一官房審議官、アルゼンチン側は民間航空局のオスカル･アルフレド･ビジャボナ局長。

両国間では航空協定は締結されていない。今回、航空当局間の枠組みを締結することで両国の航空会社の乗り入れを可能とすることとなった。日本とアルゼンチンの航空会社が両国間の旅客および貨物定期便の航空便に関して、羽田空港以外の日本の空港およびアルゼンチンの空港への乗り入れが可能になった。従来、コードシェアの枠組みは構築されていた。